

校長室より

令和6年6月7日(金)

「大の里優勝」



先月の大相撲夏場所で23歳の大の里が見事優勝を果たし、天皇賜杯を手にすることができました。

大の里は、場所前から優勝候補に名前が挙がるほどメキメキと力をつけていて、応援したい力士の一人でした。応援したい理由として…

- ①出身がおとなりの石川県だということ。石川県は有名な力士をたくさん輩出している相撲県。
- ②優勝すれば、初土俵から所要7場所での最速記録。
- ③生まれたときから体が大きかったこともあり、父親のすすめで相撲を始めたそうです。当時はそこまで強くなかったのですが、負けた相手には必ず借りを返すという思いは強かったというエピソード。
- ④大学時代にお世話になったたい焼きのお店が閉店すると聞かや、すぐにお礼に駆けつける律儀さ。

しかし、大の里がここまで来るのには決して順風満帆ではありませんでした。1月には能登半島地震で祖父の家が被災。大の里は2月に地元を慰問して、「知らない人からもたくさん応援されていることを知り、土俵の上でいい姿を見せたい」と心に決めたそうです。また、4月には後輩力士に対して不適切行為が発覚し、嚴重注意を受けています。このときは、かなり落ち込んだようで「がんばる姿を見せて、信頼を取り戻す」と奮い立ったそうです。

おそらく、これ以外にも私たちの知らないところで、ものすごい努力をしていることは間違いありません。来場所のさらなる活躍を期待します。

大の里関、改めて優勝おめでとうございます。